

からだのとしょしつ だより

11号 2011/6/30



【資料の紹介】おすすめの一冊

『**素敵な笑顔のために**：退院後の生活を豊かにする

“仲間からの贈り物”』

早稲田大学大学院、聖路加国際病院、がんの子供を守る会編著・発行

2011年2月 16p. 26cm.

- 入院治療を終えた子どもたち、ご家族が、家庭、学校、地域に戻り日常生活を少しでも安心して送れるようにと書かれたものです。
- 病気を経験した方（子どもたち）の貴重な「ことば」は、病気と付き合う過程で、大きな支えとなるでしょう。
- まわりの方々の、より良い理解を得る手助けになりそうです。
- いつも応援してくれる仲間が、このパンフレットの中にいます。

(NH.)

患者会資料のご案内

「からだのとしょしつ」では患者会資料も収集しています。それぞれの患者会が発行している会報、講演会や催しの情報がご覧いただけます。入会案内パンフレットもあります。

「あすなろ」

編集・製作：あすなろ会

あすなろ会とは：若年性関節リウマチの子を持つ親の会

会の目的は：常に新しい情報を得て、病気を正しく理解する。

親、保護者間の親睦を図る。

おもな活動は：講演会・懇親会・サマーキャンプ・機関誌発行

—入会案内より—



「がんばりまっしょい」

編集・発行責任：日本骨髄腫患者の会

活動の四つの柱：自分らしく病気と向き合うために

仲間との交流

医師と患者の架け橋

QOLの向上及び完全治癒の実現

会のメーリングリストの合言葉的フレーズが会報のタイトルになりました。がんばれの励ましはタブーでは？と言われることもあるけれど、この会の“がんばりまっしょい”は、一方的に誰かを励ますための言葉ではなく「骨髄腫というキーワードでつながるすべての人が、みんなで力を合わせましょう」の掛け声です。

—第12号(2011年2月号)より—

「こーじ通信」

編集：高次脳機能障害患者と家族の会

会の活動は：

交流会の開催（ほぼ2か月毎、講演会、懇親会、レクリエーション等を通して会員の親睦をはかり、障害について勉強しています）

地域グループの結成と集会の促進

ニュース「こーじ通信」の発行

医療、福祉の充実と確立のための行政への働きかけ

☆ただし「特定の政治・宗教活動は絶対に行いません。

ーパンフレット「高次脳機能障害者と家族の会」よりー



「のぞみ」

編集・発行：がんの子供を守る会

会のおもな活動：

治療研究助成事業（治療研究助成、小児がん研究奨励賞の贈与）
相談事業（個別相談、院内親の会の支援、お子さまを亡くした親のための交流会ほか）

療養援助事業（療養費助成、ペアレンツハウスと宿泊施設の運営管理、病院ボランティアの派遣ほか）

支部活動（より身近な地域で会員及び医療者との交流ほか）

広報活動（関係者のより一層の理解と一般社会の偏見をなくすために）

小児がん経験者の会「フェロー・トゥモロー」（患者本人の会）

ーパンフレット「希望の木を育てよう」よりー

患者会資料は、この他にもあります。順次ご紹介します。(I.O.)

◆なのはな文庫のご案内◆

◇なのはな文庫は、毎週火曜日の午後、おもに病棟のデイルームを巡回して本棚の本の整理をしたり、新しい本を補充するボランティア活動です。

◇一人でも多くの患者さんが、本を読まれることで日々の時間に安らぎと癒しを感じていただけたらと思って活動しています。

◇大田区立図書館からリサイクル本をいただいています。

◆なのはな文庫はこちらで活動しています◆

外来 1号館1階：小児医療センター/ 産科・婦人科

1号館2階：メンタルヘルスセンター/ 皮膚科

2号館1階：整形外科

2号館2階：糖尿病・代謝・内分泌センターほか

病棟 1号館4階

2号館4階東/ 5階～7階/ 8階西/ 9階西

5号館4階/ 5階

編集・発行：からだのとしょじつ

東邦大学医療センター大森病院 2号館 3階

開室日時：9:30 から 16:30 土・日・祭日はお休みです。
WEB版「からだのとしょじつ」でも資料と探し方のご案内をしています。

<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/karada/>